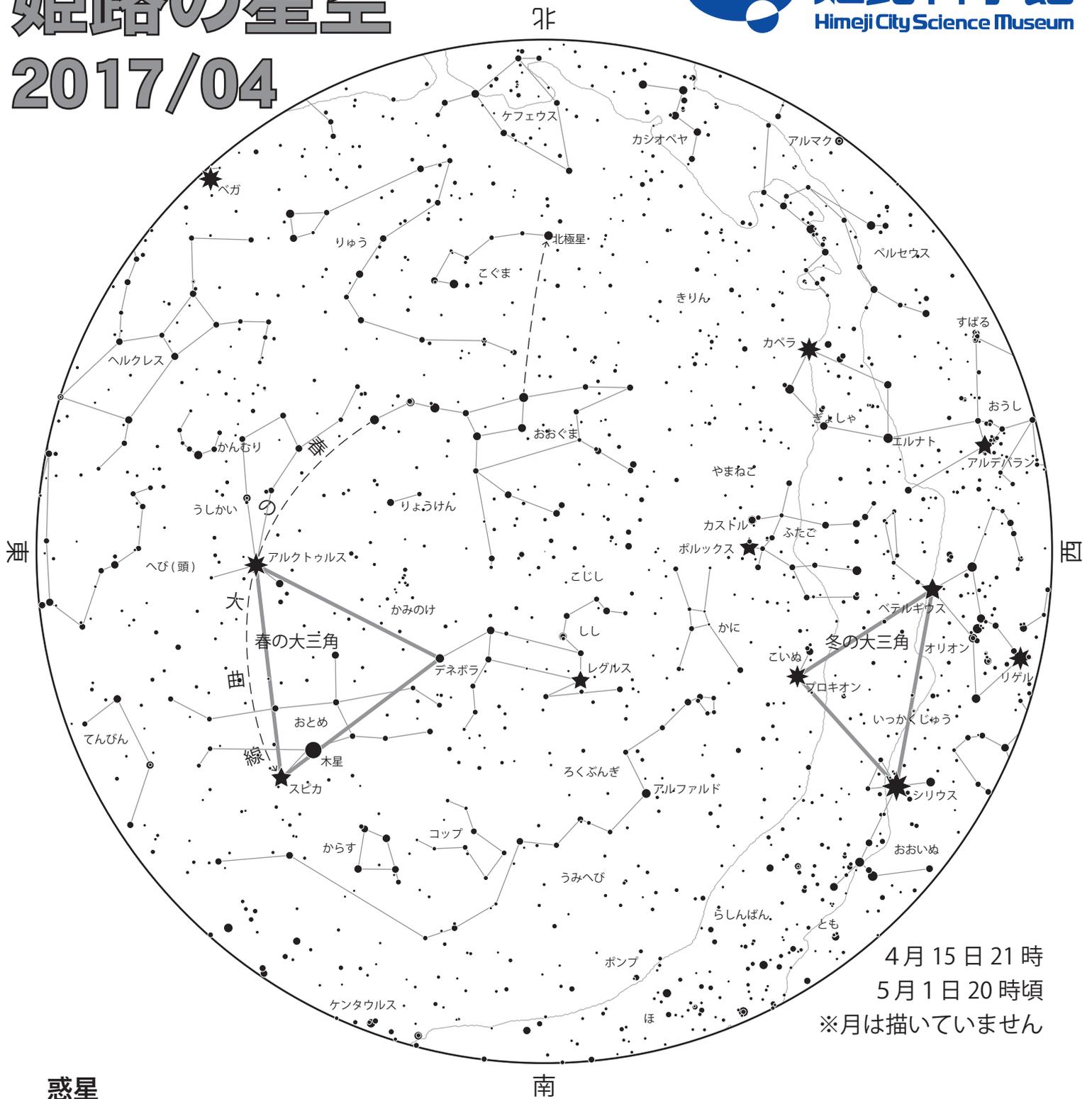


姫路の星空

2017/04



姫路科学館
Himeji City Science Museum



4月15日 21時
5月1日 20時頃
※月は描いていません

惑星

日没後の東の空に木星が見えるようになりました。4月後半には一番星として輝くようになります。木星は太陽系最大の惑星です。望遠鏡でのぞくと模様や衛星が見えるので、ゴールデンウィーク以降の晴れた日に、星の子館の天文台などにでかけて観察してみましょう。

星座の星

南から東の空には春の星が見えています。南の空高く見えるしし座のレグルスは「小さな王様」と名づけられています。北の空高くには北斗七星が見えています。そのまわりがおおぐま座です。北斗七星からは北極星が探せます。一度、家の前でも確かめておきましょう。北斗七星から春の大曲線をたどると、うしかい座のアルクトゥルス（熊の番人）、おとめ座のスピカ（尖ったもの）が見つかり、これらに、しし座のデネボラ（尾）を結ぶと、春の大三角ができます。

西の空には冬の名残の星が見えます。冬の大三角を作るおおいぬ座のシリウス、こいぬ座のプロキオン、オリオン座のベテルギウスの他に、ぎよしゃ座のカペラ、ふたご座のカストルとポルクスも目に付きます。